



Masahide Aoyama's

PREMA LETTER

APRIL 2013・VOL.24



ART OF SCIENCE

学生の頃、日本を脱出してハワイに住んだことがある。文字通り寸暇を惜しみ、一刻を争って勉強を続け、とうとう心身に変調をきたしたことから、結局、そのようになったのだった。そのまま、現代科学と東洋哲学の探求のため、アメリカ本土に渡るつもりであったが、あの島の心地よさが私を魅了して放そうとせず、滞在は数カ月にも及んだ。そしてその間に、破綻に瀕していた心身は徐々に回復し、結局、人生をやり直すことが可能となったのだった。

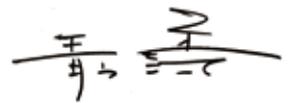
ハワイでは、コンドミニウム・ホテルに住んだ。建物の半分がホテルで、半分はマンションだったので、治安はしっかりしていたし、部屋は小さくても快適だった。巨大ショッピングセンターまで歩いて行くことができ、部屋から外を見下ろせば、階下にプールが見えて、夜はライトアップされたプールサイドに、恋人たちがいた。海岸まで歩いて行って、泳ぐこともできた。が、私はほとんど泳がなかった。ほとんど遊びもしなかった。瞑想し、勉強し、そしてまた瞑想した。

この島に行くようにという指示がシヴァ神の予言に出てきたとき、最初はなぜなのか分からなかった。ハワイは、日本人にとって

は観光の島だ。ところが今回、調べれば調べるほどに、この島の神聖さが理解されてきた。そして、なぜ短期間の滞在で私の心身が癒されたのか、その後、俄然スピリチュアルな方向に人生が展開していったのかが、三十数年経ってやっと分かったのである。

あのコンドミニウムホテルは、おそらく今でもあるだろう。バスが近くを通れば、「あ、あそこ、あそこ!」と指さすことができるかもしれない。しかし、神聖で、清々しく、生命力に満ち溢れたこの島には、その後三十数年、一度も行くことはなかった。何度か計画したが、行けなかったのだ。それではいけない、せつかくこの星に転生して、それではもったいないとシヴァ神はお考えになって、皆さんをお連れするように、そして、私自身はこの島で何かの慈善を行なうようにという指示を出された。

相対世界を生きることは困難に満ちている。しかし稀には、肉体をもって生まれたことを神々に感謝する、そんな時を過ごせることもまた事実だ。そしてたまには、われわれは、そんな時を持たなければならないらしいのである。



コラム 神の子

『ヘイアウ』(石積み の 塀 に 囲 わ れ た 古 代 神 殿) の 起 源 は、ポリネシア全般でよく見られる「マラエ」という、石積み の 祭 祀 場 だ と 考 え ら れ て い ます。ニュージーランドの先住民マオリ族は、現在でもこの「マラエ」とよばれる儀式の場・集いの場を守り伝えています。

古来マオリ族は長老を尊び、マラエを中心に生活してきました。敷地内は、死者の魂を祀るマラエの中心に集会場としてのマラエ、そのまた中心に祭壇のマラエがあり、3重構造になっています。そして、内奥に入るドアを『愛の扉』と呼び、その中は子宮を意味していると考えられています。

ここ数年『大いなる生命と心のたび』で何度も巡礼したインドの大聖地ティルヴァンナマライの



マラエ



シヴァ神大寺院



ケアイヴァ・ヘイアウ

シヴァ神大寺院も3重構造で、主神が祀られている内奥『ガルバ』は子宮を意味します。

女性の子宮の中で生まれ、生まれゆく生命……。それはまさに、私たち一人ひとりが『神の子』であるという真理の象徴のようです。



ペレの椅子

オアフ島は別名ギャザリング・プレイス「集いの島」といわれ、ポリネシア、ミクロネシアの島々を特徴づけるマナ(愛と癒しの生命エネルギー)のすべてを持ち合わせています。オアフ島を1周するだけで、これらの島々に流れるすべてのマナを受け取ることができるといわれます。

6月20日(木)

ワイキキ周辺巡礼

22時55分・羽田発日本航空にてホノルルへ。首都圏の忙しい皆さまは、その日の仕事を終えてから羽田にお集まりください。日付変更線を通り過ぎて同日11時30分・ホノルル着。

時差は日本より19時間遅れです(5時間をたして1日引きます)。機内なるべく眠り、時差ボケを防ぎましょう。

ハワイ王室霊廟正式参拝 まず、神々と歴代の王から、ハワイ巡礼全体の祝福をいただきます。

ハワイ出雲大社参拝 ハワイにある祖国の社にご挨拶いたします。

6月21日(金)

東海岸・マナの中心地“パワー・トライアングル”巡礼

オアフ島でも最も霊的波動の高い聖域としてハワイアンの手で大切に守られてきた、東海岸の“パワー・トライアングル”を巡ります。

ダイヤモンド・ヘッド 車窓よりお楽しみください。

ハナウマ湾展望台 クレーターの一部が波で浸食されて出来た湾。不安や恐れから解放され、穏やかな心をはぐむエネルギーに満ちています。

ペレの椅子 火の女神ペレが瞑想したといわれる聖地で祈りを捧げ、女神のご加護と力強い愛をいただきます。青山先生による奉納後、全員で祝詞を唱えます。

イニキオロヘ寺院 男性神と女性神を祀った2つのヘイアウで祈りを捧げ、全員で瞑想します。二神のマナが一体になることで、無限の愛と癒しが与えられるといわれています。

マカプウ・ヒーリングプール 太古の時代より、人々が心と体を清めるため、スピリチュアル・クレンジングを行っていた場所で沐浴をします。全身を海に浸すのが躊躇われる方も、問題ありません。足先を海水に浸すだけでも、心身のバランスを十分に調整することができます。波の音、海を渡る風、深呼吸をしながらマナを感じとります。

ウルポ・ヘイアウ 農耕の神を祀るオアフ島最古のウルポ・ヘイアウは、「夜のひらめき」を意味し、伝説の小人「メネフネ」が一夜にして作り上げたという言い伝えが残されています。心に平和と調和を与えてくれます。

ヌアヌ・パリ(外観) ヌアヌとは涼しい高台、パリは断崖を意味します。ヌアヌ・パリは山脈の切れ目に当たるため、いつも強い風が吹きつけています。

6月22日(土)

フリータイムまたはウエストコースト方面へのオプションツアー

フリータイムで思い思いの時間をお過ごしください。オアフ西部を巡る、希少なオリジナル・オプションツアーもご用意いたしました。

オアフ島ウエストコースト・野生のイルカと思いきり戯れる海のツアー(半日・有料)

海を治める精霊に愛と感謝の祈りを捧げ、オアフの秘境をボート

クルーズしながら、イルカの群れと戯れ、一緒に泳ぎます! カメや熱帯魚が生息するスポットでカヤックやシュノーケリングもお楽しみいただけるほか、船上でハワイアン・ミュージックやフラも満喫。ウォータースポーツとハワイアン・カルチャーが同時に楽しめるツアーです(船上バーベキューのハンバーグ・ランチ付)。

オアフ島西の文化と聖地を巡るツアー(終日・有料)

マナに満ちたカネアキ・ヘイアウ、ヨコハマベイ、カネアナ洞窟などオアフ西部の聖地をクム(伝統文化継承者)と一緒に巡礼します。また、クムから教えていただくハワイアン・カルチャー(フラダンスやフラで使う楽器、ハワイアン・クラフトなど)の体験もお楽しみいただけます。どこにも公開されていない、アートオブサイエンスのオリジナル・オプションツアーで、たくさんの思い出をつくってください。

フラ・カヒコ(古典伝統フラダンス)へご案内(ワイキキ・夕刻・無料)

ハワイ語で唱えるチャント(メレ)に合わせて、神への奉納の舞が演じられます。フラ・カヒコは宗教的行為としてヘイアウに奉納されることもあり、南国的で陽気な「フラダンス」のイメージからは想像出来ない、極めて厳粛なものとして扱われています。

6月23日(日)

ノースショア方面巡礼

この日はハワイ王族の聖域も訪れ、2か所で瞑想の時間があります。

ケアイヴァ・ヘイアウ 薬草を用いた治療を施す癒しのヘイアウ。薬草について研究し、ヒーリングのためのチャント、瞑想などを修業する場でもありました。ヘイアウを囲むように植えられた薬草(ティーリーフやノニの木)が今も残っています。古代の宗教的儀式では、マナをもつ聖なる植物でレイも作られました。神聖なエネルギーの充満するこの地で、ご一緒に瞑想を楽しみましょう。

クーカニロコ(通称ワヒアワのバース・ストーン) オアフ島の中心にあたるへそ(ピコ)といわれる「クーカニロコ」は、太古の時代、王室の女性たちが出産した聖なる史跡です。昔は何重にも境界線が設けられ王族以外は立ち入り禁止でした。ここでも気に行った場所を見つけて瞑想を楽しみましょう。クーカニロコは、東海岸のマカプウ同様、UFOが頻繁にみられる場所としても有名です。

ラニアケア・ビーチ 野生のウミガメに出会えるビーチとして知られています。神聖な旅の途中、しばしウミガメと戯れ、時を過ごしましょう。

サンセット・ビーチ、クアロア・ランチ 車窓よりお楽しみください。

6月24日(月)

フリータイム

18時15分、夕方遅くのホノルル発・羽田行き日本航空便をおさえることができました。一日余計にハワイを楽しめる、お得な日程です。午後3時頃まで自由な時間を楽しみ、それから空港へ、日付変更線を越えて翌25日(火)、羽田に着きます。

ART OF SCIENCE

アートオブサイエンス <プレマ倶楽部> 事務局

〒152-0032 東京都目黒区平町2-23-20-201

Tel: 03-6459-5313 Fax: 03-6459-5317

Website: <http://www.art-sci.jp> Email: info@art-sci.jp